

平成27年度「県民Webアンケート」結果の活用状況

- 活用状況選択
 A 実施中の事業・施策の改善 :10
 B 現在、検討している事業・施策の参考 :1
 C 今後、事業・施策を検討する際の参考 :4
 D その他 :0

アンケートのテーマ名	アンケート実施期間	会員数	回収数	回収率	アンケートの目的	活用状況	活用状況詳細	課名
1 文化財に関する県民意識調査	2015/7/9 ~ 2015/7/15	217	183	84.3%	本県には、重要な文化財が数多く残っています。このアンケートは、県民のみならず文化財に対してお持ちのイメージや関心のある文化財などをお聞かせいただき、今後の文化財の保存や活用に関する施策を検討していくうえで参考とさせていただきます。お手数をお掛けいたしますが、ご理解とご協力のほど、宜しくお願いいたします。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	文化財についての情報を得る媒体として、今後の利用希望については、県のホームページやその他のインターネット情報という回答が上位であった。今年度より開設したFacebookを通してよりタイムリーで分かりやすい情報発信を心がけていきたい。また県内の文化財について広報するデジタルブック作成事業の企画立案につながった。 文化財の保存修復作業や発掘調査作業に対する実際の体験希望について、県民の関心の高さがWebアンケートの結果より確認でき、ツアー事業の企画立案につながった。	文化財保存課
2 結婚支援について	2015/7/23 ~ 2015/7/29	220	188	85.5%	奈良県では総合的な少子化対策に関する計画策定の作業を進めています。結婚も少子化対策の一つの大きなテーマとらえており、結婚支援の方向性について皆様のご意見を伺い、計画策定の参考にさせていただきますたいと思っております。ご協力よろしくお願い致します。	A 実施中の事業・施策の改善	アンケート結果から、結婚支援として、出会いイベントを求める独身者の意見が多かった。また、全体回答者の意見としても、県は出会いイベント等の情報発信をすることが必要との意見が多かった。 このため、出会いイベント等を開催する「なら結婚応援団」登録制度と情報発信を継続するとともに、応援団員の増に努めていくこととする。	子育て支援課
3 奈良マラソンに関する県民意識調査	2015/8/6 ~ 2015/8/12	222	191	86.0%	奈良マラソンの今後の大会運営の向上に向けての資料とするため、大会に対する県民の皆様の認知度や意見を調査します。	A 実施中の事業・施策の改善	アンケート結果から、「奈良マラソン」がコース沿道以外の方を含む多くの県民に認知、また賛同もいただいていることがわかった。 「奈良マラソン」が奈良県民に与える影響として、観光や消費の拡大を期待されており、外国人ランナーの参加拡大は高評価を受けている。 「奈良マラソン」のPR方法について様々なご意見をいただいているので、今後の運営の参考として、より一層ランナーや地域にやさしい大会をめざす。	スポーツ振興課 (奈良マラソン実行委員会)
4 奈良県の生物多様性について	2015/8/20 ~ 2015/8/26	222	191	86.0%	県では、平成26年3月に生物多様性なら戦略を策定しました。(※生物多様性とは、生きものや生態系の豊かさを表す言葉です。さまざまな生態系にさまざまな在来種が、さまざまな遺伝子を持って生きていることです。)戦略では、普及啓発を通して皆様に生物多様性を身近に感じていただき、生物多様性への認知度を高めることを目標の一つに掲げております。 そこで、皆様の生物多様性に対する意識や認知度について現状を把握するためアンケートを実施し、今後の施策に活用させていただきますたいと思っております。ご協力のほど、よろしくお願い致します。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	アンケートの結果より、生物多様性への認知度はまだ低いことが明らかになったため、今後さらなる普及啓発していく必要がある。一方で、奈良県の自然に対する関心や生物多様性保全の重要性の認知度は高かったことから、奈良県を代表的な生きものや自然環境についてのイベント等、効果的な普及啓発を展開していく中で、生物多様性への理解を深めていただき認知度の向上を図る。	環境・自然環境課
5 農村資源の魅力と活用に関するニーズ調査	2015/9/3 ~ 2015/9/9	222	185	83.3%	農村には、「農」の営みを通して継承されてきた美しい農村景観や豊かな自然環境、美しい農産物や加工品、伝統文化や歴史などの農村資源があります。これらの農村資源を活用し、都市農村交流を推進することにより農村地域の活性化を図っていきたく考えています。今後、より魅力ある地域となるために、アンケート調査にご協力をお願いします。	A 実施中の事業・施策の改善 B 現在、検討している事業・施策の参考	アンケート結果から農村地域での取組体験やイベントなどが人気であることがうかがえる。これらの情報は、紙媒体やHPなどから入手しにくいことも判明。 そこで、情報発信する「ならグリーン・ツーリズム」のHPの紹介により、より多くの方々の農村への認知度が向上し、PRの効果が目撃された。県民に身近な体験型イベントや新聞折り込みの取組体験などによるPRからグリーン・ツーリズムの魅力を伝える広報を実施。 また、アンケートにより、農村の歴史文化や伝統行事などに関心が高いことが判明した。 そこで、農村資源を新たに農村文化として捉え、新たに農村の文化的価値を活かした農村地域の振興を図るため、職員が政策提案も参考にしながら農村文化をテーマとした事業化(事業名「ならの農村文化創造事業」)を行った。	農村振興課
6 これからの奈良県の住みやすさについて	2015/9/18 ~ 2015/9/25	222	173	77.9%	奈良県には、様々な地域や住宅にお住まいの方々がいらっしゃいます。県では、その方々が今後も引き続き奈良県に安心して住み続けたいという住みやすさなどの形成に向けて、検討・議論を進めています。このアンケート調査は、「住みやすさ」で周辺の環境などについて皆さまのご意見をお聞きし、今後の住みやすさに関する取り組みの検討に活用させていただきますたいものであります。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	本年度「奈良県県民生活基本計画」の改訂作業を行うにあたり、既存の統計調査結果等に加え、今回のアンケート結果を参考にし、施策の検討に役立てる。	住宅課
7 「祈りの回廊」についての認知度・興味度調査	2015/10/1 ~ 2015/10/7	222	184	82.9%	奈良県では、奈良大和路の社寺を中心とした奥深い魅力に溢れ、広く奈良の素晴らしい歴史や文化を深く味わうことを目的として、秘蔵・秘伝・秘宝を展示する回廊と社寺との連携事業「祈りの回廊」を推進しています。そこで、「祈りの回廊」についての認知度や興味度をみなさまにお伺いしたいと思っております。このアンケートは平成28年度に同様の展開で実施しますが、経年による変化も把握したいと思っておりますので、過去のアンケートにお答えいただいた皆様も御協力をお願いします。	A 実施中の事業・施策の改善	アンケート結果にもっとPRをすべきというご意見があったことから、「県民より奈良」に初めて掲載したところ、「県民より奈良」を掲載したパンフレットを入手し、またパンフレットを配布する機会を増やしたい。今後より効果的なPR手法について検討していきたい。 また昨年度より回廊の選定内容を追加したことから、テーマを決定した社寺の選り方に関する情報を期待・希望していることが多くと理解できた。今後のパンフレットの作成においてご意見を参考にしたい。	ならの魅力創造課
8 奈良の広報媒体について	2015/10/1 ~ 2015/10/7	222	184	82.9%	県では、広報紙やテレビ、インターネットなど多様な媒体を利用して県政情報を発信しています。そこで、昨年より引き続き、県政広報の中心媒体である県民報「奈良県民」や奈良県民、テレビ版「奈良県民」や「奈良県民」などの放送番組、さらには、ホームページやフェイスブックサイト「なら」や「奈良県民」などについて、認知度や閲覧(視聴)頻度を調査し、より層の内容充実を図るためアンケートを行います。	A 実施中の事業・施策の改善	ホームページについては、アンケートの結果では一定の認知度を得られている。平成28年10月に、利用しやすいサイトへの移行が完了したところであるが、自由意見では、必要な情報に辿り着きにくいとの意見が多く見られた。今後随時掲載を行い、メニューリストや階層構造の見直しなど、必要な情報が入手しやすく、わかりやすいホームページづくりに努める。 デジタルサイネージとフェイスブックについては、認知度はまだまだ低い状況にある。多様な県政広報媒体を活用して認知度の向上を図るとともに、今後一層掲載情報の充実を図っていく。	広報広聴課
9 古事記・日本書紀・万葉集についての認知度・興味度調査	2015/10/15 ~ 2015/10/21	222	180	81.1%	奈良県では、古事記完成1300年目にあたる2012年から、日本書紀完成1300年目にあたる2020年までの9年に及ぶ長期のイベント、「配祀」万葉プロジェクトを推進しています。そこで、古事記・日本書紀・万葉集について、皆様の認知度・興味度をお伺いしたいと思っております。このアンケートは平成22年度より同様の展開で実施しておりますが、経年による変化も把握したいと思っておりますので、過去のアンケートにお答えいただいた皆様も御協力をお願いします。	A 実施中の事業・施策の改善 C 今後、事業・施策を検討する際の参考	平成22年度から今回調査を行った「配祀」万葉」に関する県民意識の変化を観察できた。6年分のデータ蓄積によって、県民の認知度・興味度等がより詳細になり、配祀万葉集にも積極的にご回答いただき、今後の事業展開方向を考える際の参考となった。	ならの魅力創造課
10 奈良中心市街地における渋滞対策について	2015/10/29 ~ 2015/11/4	222	186	83.8%	このアンケートは、県民の皆様の奈良中心市街地への来訪体験と渋滞対策の認知度を調査するとともに、県民の皆さんに対してご意見を伺い、今後の渋滞対策の参考とする目的で実施するものです。ご協力をお願いします。 奈良中心市街地は、桜井奈良公園、平城宮跡、西の園を囲む地域のことをいいます。	A 実施中の事業・施策の改善	奈良中心市街地への来訪手段については、自動車が高割合を占めているため、くわんごの運行や歩行者専用車道の充実などの公共交通機関による来訪を促進する取組を引き続き行い、広報を充実させていく。 P&R駐車場についても、知らなかった方が約3割と比較的多いため、広報の充実を図ることにも活用を促進させ、奈良中心市街地の渋滞対策に取り組んでいく。	道路環境課
11 奈良県の「人権」イベントについて	2015/11/12 ~ 2015/11/18	222	181	81.5%	このアンケートは、奈良県が行う「人権」に関するイベントについてお尋ねするものです。奈良県では、現在「人権」をテーマにしたさまざまなイベントを開催しています。みなさんは「人権」をテーマにしたイベントについて、どのようなイベントをみなさまに、より身近に感じていただけるイベントにするため、イベントについての簡単なご意見・ご感想をお聞かせください。 このアンケートは以前にも同様の展開で実施しましたが、結果を比較したいと思っておりますので、過去のアンケートにお答えいただいた皆様にも、ご協力いただきますようお願いいたします。	A 実施中の事業・施策の改善	アンケート結果から、「人権」への関心、あるいは「とっつきにくい」、「むずかしいもの」という先入観が一部にあることがうかがわれる。 「人権」はむずかしいものではなく、身近で大切なものであるということを幅広い年齢層の方々に理解してもらえよう、情報誌の内容を工夫したり、見やすい紙面づくりやわかりやすいホームページづくりを努める。 また、今回のアンケート結果を参考にイベント内容や広報についての検討を行う。	人権推進課
12 救急電話相談に関する調査	2015/11/26 ~ 2015/12/2	222	183	82.4%	奈良県では、「救急を呼ぶのが良いのか」「直ぐに医療機関への受診が必要かどうか」「応急手当の方法が知りたい」などの相談に、看護士や救急隊員が電話で対応する相談窓口(奈良県救急安心センター「救急ダイヤル」7119)を24時間体制で開設しています。本電話相談窓口については、昨年度にもアンケート調査を実施しておりますが、今年度は、今後の普及啓発活動の効果、利用目的、満足度等について調査し、今後の普及啓発および業務改善の参考とするものです。	A 実施中の事業・施策の改善	アンケート結果については、平成28年3月29日開催の奈良県救急安心センター事業検証会にて報告を予定。 アンケート結果からは、「7119」の認知度が64%と平成26年度の33%から上昇していることがわかるが、依然として高い水準とは言えないため、今後更積極的な広報・啓発活動を継続していく。また、利用者の電話相談の結果について「適切だった」と回答した割合は7割であったが、平成26年度より低下していることから、事業内容について逐次検討を行い、さらなる充実・改善を図っていく。	地域医療連携課
13 公共交通の満足度に関するアンケート	2015/12/10 ~ 2015/12/16	222	179	80.6%	奈良県では、効率的で持続可能な地域公共交通の確保に向けて、知事会会長及各市町村長、交通事業者の代表及び近畿運輸局で組織した奈良県地域交通改善協議会において、毎年の利用状況等に基づいた路線バス等の運行計画の策定を行うと組織的に協議することとしています。 このため、地域の生活スタイルを踏まえ移動ニーズを組織的に把握することが必要であると考えており、県民の皆さまのご協力を頂き、地域公共交通の改善を検討する基礎資料とさせていただきますたいと思っております。	A 実施中の事業・施策の改善	公共交通の利便性満足度は、公共交通に関する施策を総合的に計画して推進することを目的として「奈良県公共交通基本計画」を、地域全体を見据えた総合的な交通ネットワークの形成を図ることを目的とした「奈良県地域公共交通形成計画」において、評価指標に位置づけられており、今後の満足度の改善状況のモニタリングに活用する。 各質問いただいた意見については、奈良県地域交通改善協議会などの場において、県のみならず、市町村、交通事業者等と共有し、地域における公共交通のあり方の検討に活用する。	地域交通課